

PVM-X3200/X2400/X1800 リリースノート

V4.00

1. 適用可能なファームウェア:

PVM-X3200 Ver.2.00 以降

PVM-X2400 Ver.1.04 以降

PVM-X1800 Ver.1.04 以降

ご注意

- ・ 本モニターのファームウェアバージョンは Status メニューの Unit Status で確認できます。
- ・ ファームウェアバージョンが Ver.1.03 の場合は先に Ver.1.04 へアップデートしてください。
- ・ Ver.1.04 のアップデートファームウェアはサポートページからダウンロードしてください。
- ・ Ver.1.04 へのアップデートは約 1 時間 10 分掛かります。

2. ファームウェア情報:

Firmware	旧バージョン			新バージョン
Software	1.04	2.00	3.01	4.00
FPGA1	0084	0143	0230	0370
FPGA2	0050	0053	0060	0060(X3200, X1800) 0061(X2400)
FPGA3	0032			
FPGA4	1002200			
FPGA5	0B74CC			
CPLD	0003			
Data1	0004			
Data2	0051	0053(X2400, X1800) 0054(X3200)	0061	0064

ご注意

- ・ ソフトウェアと FPGA の両方のアップデートが必要です。アップデート時間は「4.アップデート方法」の項目をご覧ください。

3. 準備

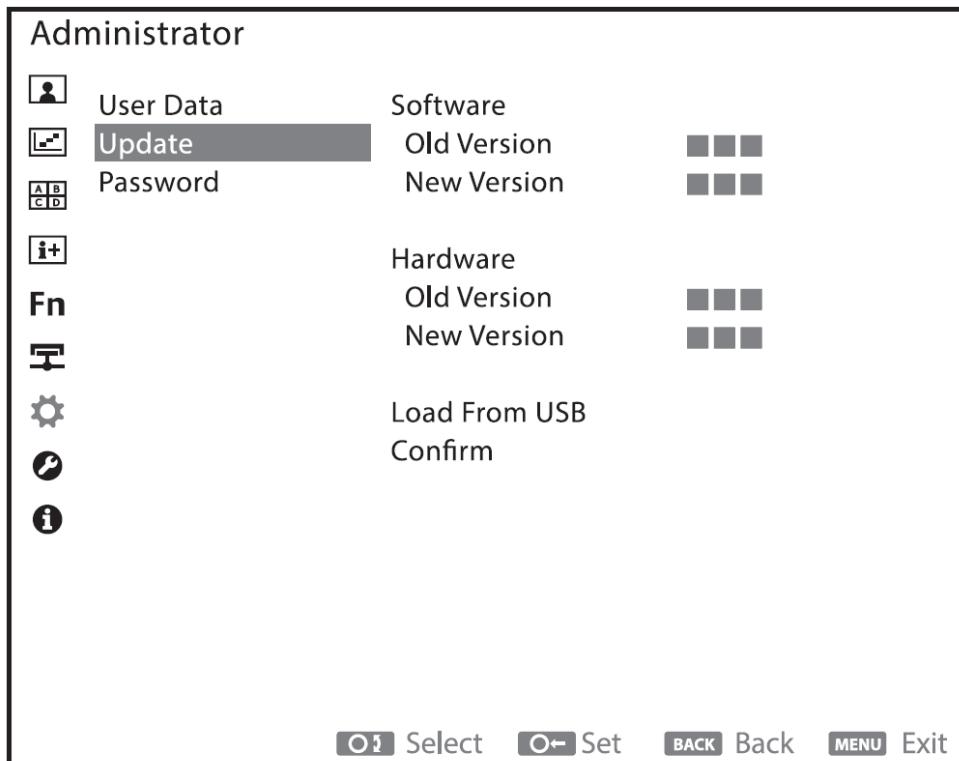
下記の USB メモリーを 1 個準備してください。

仕様: USB 3.0 8GB 以下、FAT32 フォーマット

詳細は PVM-X3200、PVM-X2400 及び PVM-X1800 の取扱説明書の「USB メモリーの取り扱い」をお読みください。

4. アップデート方法:

- ・ ZIP 化されたアップデートファイルをソニーのウェブサイトからダウンロードし、解凍後、ファームウェアの「MSSONY」フォルダーを USB メモリーの直下に置いてください。
 - ・ その USB メモリーをモニター本体の USB 端子に挿してください。
-
- メニューボタンを押して、オンスクリーンディスプレイメニューを開いてください。
 - Administrator メニューの Update メニューへ進んでください。
 - Load from USB を選び、上記リストを参照の上、New Version に正しいファイルが表示されているか確認してください。



- Confirm をクリックしてください。
- アップデートの所要時間は、旧バージョンにより異なり下記の通りです。

旧バージョン	所要時間
Ver.1.04 または Ver.2.00	約 1 時 25 分
Ver.3.01	約 1 時 5 分

- すべてのファンクションボタンが 2 度点灯したら、電源をオフして、電源オンしてください。旧バージョンが Ver.3.01 のときは、アップデート完了後、本機が自動的に再起動します。

詳細は取扱説明書の“Administrator”メニューの Update をご覧ください。

ご注意

- ・ アップデート中は本機の電源を切らないでください。 万一アップデート中に電源が切れた場合は、最初から操作しなおしてください。
- ・ アップデート中はファンクションボタンの LED が F5 から F11 に向けて順に点灯します。ソフトウェアのアップデートが完了するとすべてのファンクションボタンが点灯します。 しかし、アップデートはまだ終了していませんので電源を絶対に切らないでください。ハードウェアアップデートが直ぐに始まります。
- ・ ハードウェアアップデート中もファンクションボタンの LED が F5 から F11 に向けて順に点灯します。アップデートが終わると、すべてのファンクションボタンが再度点灯します。
- ・ 旧バージョンが Ver.1.04 または Ver.2.00 のときは、アップデート完了後、本機の電源を OFF/ON して再起動してください。
- ・ 旧バージョンが Ver.3.01 のときは、アップデート完了後、本機が自動的に再起動します。

5. 変更点:

- ・ Ver3.01 からの変更点は下記となります。オンスクリーンディスプレイメニューも本変更に応じて変更している場合があります。
- ・ 本アップデートを実行すると、お持ちのモニターは Ver.4.00 にアップデートされます。

ID	新機能	説明
1	タイムコードとエンベデッドオーディオの拡張 SDI 出力対応	SDI の入力信号に重畠されているタイムコードとエンベデッドオーディオ信号が拡張 SDI 出力 (Enhanced Monitor Out.) から出力されます。本信号を収録し、オンライン編集などに使用することができます。

2	3D LUT 適用出力ライセンス PVML-TDX1	「拡張 SDI 出力」から、ユーザー 3D LUT 適用後の信号を出力します。
3	信号変換出力ライセンス PVML-SCX1	「拡張 SDI 出力」から、信号フォーマット変換後の信号やユーザー LUT 適用後の信号を出力します。
4	IMD（インモニター ディスプレイ）機能	外部リモート機能を利用して画面上にソース名やタリー情報を表示させることができます。TSL UMD プロトコル V5.00 に対応。単画面だけでなく、4 画面表示の QuadView（クワッドビュー）や 2 画面表示の Side By Side(サイドバイサイド)にも対応しています。
5	クローズドキャプション表示	HD-SDI に重畠されている、北米のクローズドキャプション（字幕）フォーマットの EIA/CEA-708 及び EIA/CEA-708 上の EIA/CEA-608 に対応しました。
6	クロマアップ	色の濃さを 4 倍にする機能です。カメラ調整に使います。
7	グリッド表示機能	被写体のレイアウトを検討する際に、水平垂直のガイド線を表示します。3x3 から 128x120 まで、間隔の異なる、12 のグリッドタイプから選べます。
8	パラレルリモート	モニター背面のパラレルリモート端子の各ピンにメニューで 7 つの機能を割り付け、操作できます。割り付けた機能を GND に接続するか、離すかで操作します。操作したい機能は入れ替えが可能です。

9	メニュー画面の応答改善	オンスクリーンメニューの応答速度を Ver.3.01 から 20~30% 改善しました。
---	-------------	--

ご注意

- モニターはアップデート後もユーザーデータを保持しています。もし、新しい F Key Preset のデフォルト値を表示したい場合、User Reset をする必要があります。ユーザーリセットをすると、パスワード、All User Data Save されたデータや User LUT1 から User LUT30 のデータ以外はモニターが工場出荷時設定に戻ります。User Reset した場合はセーブされていないユーザーデータはクリアされます。